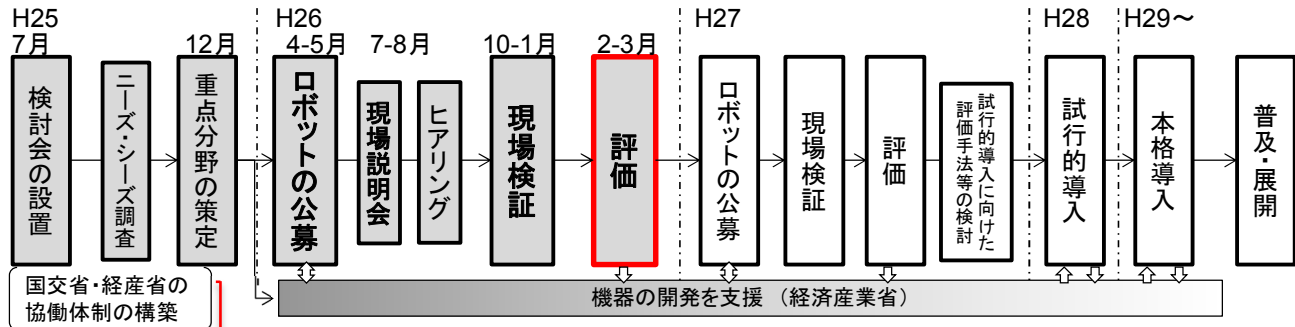


# 次世代社会インフラ用ロボット開発・導入 全体概要

老朽化の進行、頻発する災害、人口減少社会の到来、この社会インフラを巡る重大な課題に対し、人を代替・支援をするロボットを活用し適切な維持管理及び迅速かつ的確な災害対応を実現するため、現場ニーズと技術シーズを踏まえた重点目標を設定し、民間企業や大学等からのロボット技術を公募し、直轄現場での検証・評価を行い、効果の高いロボットの開発・導入を推進。



**【5つの重点分野】** (平成 25 年 12 月 25 日検討会にて策定)

<p><b>I 維持管理</b></p> <p>① 橋梁</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近接目視を代替・支援</li> <li>・打音検査を代替・支援</li> <li>・点検者の移動を支援</li> </ul> <p>② トンネル</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近接目視を代替・支援</li> <li>・打音検査を代替・支援</li> <li>・点検者の移動を支援</li> </ul> <p>③ 水中 (ダム、河川)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近接目視を代替・支援</li> <li>・堆積物の状況を把握</li> </ul>	<p><b>II 災害対応</b></p> <p>④ 災害状況調査 (土砂崩落、火山災害、トンネル崩落)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場被害状況を把握</li> <li>・土砂等を計測する技術</li> <li>・引火性ガス等の情報を取得</li> <li>・トンネル崩落状態や規模を把握</li> </ul> <p>⑤ 災害応急復旧 (土砂崩落、火山災害)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土砂崩落等の応急復旧</li> <li>・排水作業の応急対応する技術</li> <li>・情報伝達する技術</li> </ul>
--	---

## 1. 応募数、現場検証・評価対象数

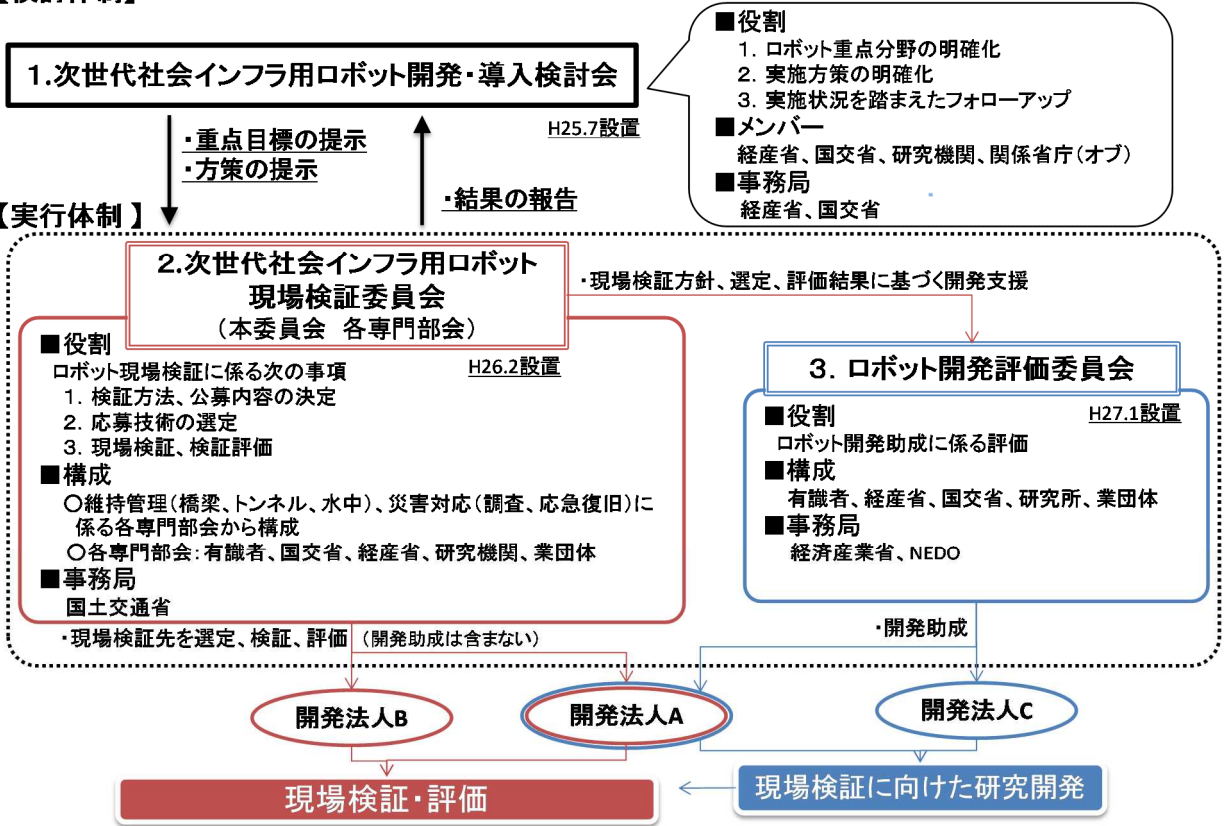
- 維持管理 (橋梁) : 応募数 31 技術、現場検証数 17 技術・評価対象数 12 技術
- 〃 (トンネル) : 応募数 10 技術、現場検証数 8 技術・評価対象数 2 技術
- 〃 (水中) : 応募数 16 技術、現場検証数 14 技術・評価対象数 6 技術
- 災害 (調査) : 応募数 24 技術、現場検証数 19 技術・評価対象数 13 技術
- 〃 (応急復旧) : 応募数 8 技術、現場検証数 7 技術・評価対象数 6 技術
- 合計 : 応募数 89 技術 現場検証数 65 技術・評価対象数 39 技術**

## 2. 検証現場

- 維持管理 (橋梁) : 浜名大橋 6 技術、新浅川橋 9 技術、国総研内橋梁 5 技術
- 〃 (トンネル) : 宮ヶ瀬ダム北岸林道トンネル 6 技術、施工技術総合研究所模擬トンネル 8 技術
- 〃 (水中) : 宮ヶ瀬ダム 13 技術、多摩川緊急船着場 2 技術
- 災害 (調査) : 赤谷 6 技術、桜島 7 技術、雲仙普賢岳 2 技術、国総研実大トンネル 6 技術、土木研究所試験場 1 技術
- 〃 (応急復旧) : 多摩川二ヶ領 1 技術、雲仙普賢岳 6 技術
- 合計 14 力所**

### 3. 検討・実行体制

#### 【検討体制】



### 4. 評価結果概要

別添2参照。